

語り手



ミヤゾノ トモコ
宮園 智子 氏

城南おはなし会代表
わくわく文庫主宰

- ◆ 対象 小学6年生〜一般
※定員100名(先着)
- ◆ 参加費 無料
- ◆ 会場 小ホール (大野城まどかぴあ2階)



◆ 参加お申し込み 10月2日(月) 10:00より
図書館カウンター・電話にて受付開始

◆ お問い合わせ・お申し込み
大野城まどかぴあ図書館 092 (586) 4010

語りノオハナシ会

岩手の言葉で聴く
賢治^{ケン}作品と昔話^{ムカシ バナシ}

日時

10月22日(日) 10時〜11時30分



2023年
図書館へ
ゆこう!!

没後90年となる 宮沢賢治 の名作や昔話を、岩手出身の語り手が 郷里のことばで語ります

演目 プログラム

ししおど

◆ 宮沢賢治作 『鹿踊りのはじまり』

山道のすすき野に手ぬぐいを忘れた嘉十。かじゅう

拾いに戻ると、立派な雄鹿たちが、その手ぬぐいのまわりをぐるぐると回っている。やがて不思議なことに、鹿たちの怖れと好奇心が入り混じったことばが聞こえてきて――。

◆ 宮沢賢治作 『注文の多い料理店』

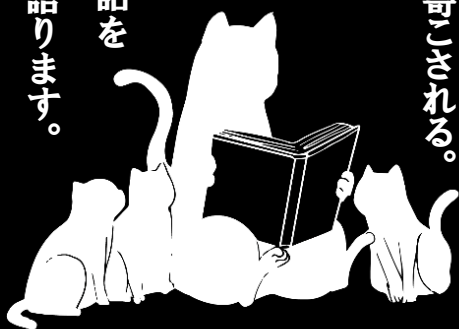
狩猟の最中、道に迷った二人の紳士がたどり着いた「西洋料理店山猫軒」。店の奥に進むにつれ、「服を脱いで」やら「塩を体に揉み込んで」やら、おかしい注文を次々に寄せられる。最後に待っていたのは――!!

◆ 東北弁で語る昔話

古くから人々に親しまれて

きた昔話から、選りすぐりの数話を

宮園氏の出身地、岩手の方言で語ります。



※演目は、変更される場合があります。ご了承ください。

語り手

みやその ともこ
宮園 智子 氏

(城南おはなし会代表 わくわく文庫主宰 福岡おはなしの会所属)

岩手県釜石市出身。福岡市在住。

岩手の方言で東北の昔話や宮沢賢治の童話を学校や図書館、公民館などで語る。東日本大震災後は、被災した故郷の復興を願い、「祈り3.11釜石を応援するちいさなおはなし会」を企画してきた。

大野城まどかぴあ図書館

092 - 586 - 4010

ホームページ

